



## 建物被害と相関を持つ地震動強さ指標を用い構造種別や層数を考慮した 地震被害推定システムの開発

新井健介<sup>1)</sup>, 境有紀<sup>2)</sup>

- 1) 学生会員 筑波大学大学院システム情報工学研究科, 大学院生  
e-mail : e0511266@edu.esys.tsukuba.ac.jp
- 2) 正会員 筑波大学大学院システム情報工学研究科, 教授 工博  
e-mail : sakai@kz.tsukuba.ac.jp

### 要約

本研究では, 木造建物が多い地域から非木造建物や高層建物が集中する都市部まで, あらゆる地域で地震被害推定を正確に行うため, 建物の構造種別や層数を考慮して建物を分類し, それぞれの建物被害と対応した地震動強さ指標を用いる, 建物の構造種別や層数を考慮した地震被害推定システムを提案した. 提案する地震被害推定システムを過去に発生した地震に適用し, 推定被害と実被害との比較を行った. その結果, 提案する被害推定は実被害とよく対応する結果となり, 提案する地震被害推定の有効性を示すことができた. また, 計測震度を用いた被害推定結果と比較した結果, 提案する被害推定の方が実被害との対応がよい結果となった.

キーワード: 地震被害推定, 建物内人口, 人的被害, 建物群, 建物被害